



潟小だより

上越市立大潟町小学校

E-mail ohgata-e@jorne.or.jp

令和4年5月



「廊下を走らない」は、永遠の課題か？

令和4年度になって約1か月。衝突や転倒、不注意によるけがで保健室に来室し、そのまま医療機関を受診する子供が目立っています。走ってきた人に衝突され骨折に至った痛ましい事故も起こってしまいました。けがの連続発生は、学校の安全・安心を預かる校長として残念でならず、大いに反省しています。

安全に過ごす対策として、昨年からは廊下歩行を呼び掛けてきました。「走っちゃ、ダメだよ。」と子供が注意し合う声も聞かれるようになりましたが、授業終了の挨拶もほどほどに教室から飛び出していく子供もいます。廊下の先が大人以上に遠く見えるためか、無意識に走り出す子供もいます。注意しても、次から次と……。

当校の校長室は1階廊下の十字路と階段に面しているため、1階はもちろん、2階で走る足音、廊下で鬼ごっこをしている叫び声など、よく聞こえてくるのです。それに耐え切れなくなり、キャラクターたちに登場願って看板を5つ作り、廊下の要所に立てました。そして、給食時に全校放送で直接、訴え掛けました。

廊下歩行は、子供たちの落ち着いた学校生活、もちろん事故防止に直結します。無意識に走ることは、道路でも飛び出す危険性が高いということです。全職員が本気になり、潟小に「廊下歩行」が根付くよう努めます。子供たちには、挨拶、掃除と合わせて児童会の各委員会に分担させ、子供の創意工夫を取り入れた活動で、永遠の課題と言われる廊下を走らない学校の実現を目指します。



生活科・総合学習が本格始動



【2年】野菜の植え付け

5月6日、ホームセンターへ行き、自分で野菜の苗を選んで買ってきました。

地域の野菜の先生から教えてもらって、グラウンド南側の畑に植えました。ナス、ミニトマト、キュウリ、ピーマンなど、これから毎日、観察や世話を続け、iPadで写真を撮ったり、シートに記録したりしていきます。どうやって食べるか、収穫できる日を楽しみにしています。

【4年】キャンプ場周辺の魅力は・・・

4年生は、今年の総合的な学習の時間で、キャンプ場やシーサイドアスレチックを中心に調べ、社会科と関連づけたり、他の地域と比較したりして大湯の魅力を感じ取っていきます。

5月6日、各自がiPadを手にキャンプ場へ出掛けました。ゴールデンウィーク中は300人以上が利用したと聞き、驚きました。



【6年】中庭の池の生き物を避難

昨年、中庭に池や田んぼを作って大湯再現の活動に浸りきった6年生。どうやら今年も続けるようです。

実は、「湯舟」の竹田酒造とのコラボが決まり、中庭や柿崎区水野の田んぼで酒米を作ることになりました。その整備をする前に、メダカなどの池の生き物を避難させました。今年造ったお酒は、20歳になったらもらえるそうです。

5月8日の新潟日報の「窓」に大湯区にお住まいの方から、「小5のあいさつうれしく」と題した投書がありました。通勤時に会うその子供は、その人を見ると手を振り、深々と頭を下げってくれるので元気をもらっているそうです。地域の方が褒めてくださりとても有り難く思います。登下校する近所の子供たちを見掛けたら、一声交わしていただければ幸いです。